

Japan-China Joint Workshop on Bio, Material and Flow Dynamics 報告書

日 時： 2012年2月21日 - 2012年2月23日
場 所： 東北大学流体科学研究所
参加者： 清華大学，上海交通大学，東北大学の教員および学生
中国側：21名 日本側27名 合計：48名

Japan-China Joint Workshop on Bio, Material and Flow Dynamics が、2012年2月21日より3日間にわたって東北大学流体科学研究所にて開催された。中国の清華大学，上海交通大学，および東北大学の教員・学生が一堂に集い，流動ダイナミクスに関する22件の研究発表がなされた。本来このワークショップは，清華大学と流体科学研究所間の年次ワークショップとして開催されており，その開催地を年毎に北京と仙台で交互に担当していた。しかし今年度は議長の圓山教授の提案により，学術分野の裾野を広げるために上海交通大学からも参加者を募り，拡大ワークショップとしての開催となった。特に今年度のワークショップでは，新たに「材料科学」と「生命科学」のセッションが追加され，流動ダイナミクスに係るより広範な学術範囲で議論をすることとなった。ワークショップ中で特に報告すべき点として，学生による研究発表および参加者との議論が挙げられる。研究発表を行った学生にとっては，本ワークショップはこれから多くの国際会議を経験する上で貴重な体験となった他，今後の研究活動に大きな励みとなったに違いない。言い換えれば，このワークショップは参加学生および本 GCOE プログラムにとって学術会議以外の役割も担っていたのかもしれない。

2月23日には「片平キャンパスツアー」および「研究室ツアー」が行われた。中国側の参加者が参加し，流体科学研究所の担当者から熱心に研究活動についての説明を受けていた。研究室ツアーの後は，昨年3月11日に起きた東日本大震災の被災地を視察した。

ワークショップは成功裏に終わることができ，参加者は多くのことを学んだであろう。



参加者による記念撮影



セッションの様子 1



セッションの様子 2



セッションの様子 3



バンケットの様子



研究室視察



片平キャンパス視察